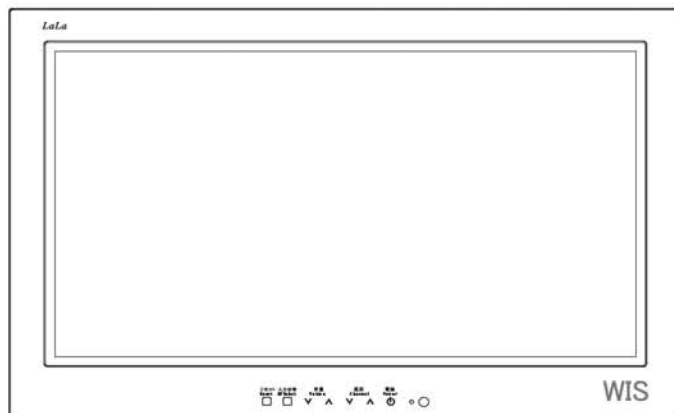
防水ワイヤレス（WDHI ）テレビ
地上デジタル・アナログ

取扱説明書

＊画像はイメージです。
＊実際の商品とは異なる場合があります。

DVD・ブルーレイ・HDDプレーヤー も送信機に接続するだけで
離れた場所でTVや映像を楽しめます。

この度は、弊社の製品をお買い上げ戴き、誠にありがとうございます。

本製品を効果的かつ安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず
この取扱説明書を最後までよくお読みください。

この取扱説明書は大切に保管し、必要なときに再度お読みください。

目　次

安全上の注意

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害をを負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

禁止の行為であることを告げるものです。

行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ 警告

異常や故障のとき

■万一、本体から煙が出ていたり、変なにおいがするときはすぐに電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、サービスセンターにご連絡ください。

■落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サービスセンターに点検をご依頼ください。

■内部に水や異物が入ったら、すぐに電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サービスセンターに点検をご依頼ください。

■電源コードが傷んだり、AC アダプターが発熱したきは、すぐに電源を切り、AC アダプターが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サービスセンターに点検をご依頼ください。

安全上の注意

防水モニター・送信機について

⚠ 警告

分解禁止

■修理・改造・分解はしないこと。
火災・感電の原因となります。
修理・点検はサービスセンターにご依頼ください。

禁止

■雷が鳴り出したら、本機に触れないこと。
感電の原因になります。

禁止

■ぐらつく台の上や傾いた場所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと。
本機が落ちて、けがの原因となります。

強制

■モニターは防水構造ですが、故意に水につけたり、水をかけたりはしないでください。故障の原因になります。

禁止

■内部に異物をいれないこと。
クリップ、ヘアピンなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。
特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

ACアダプターと電源コードについて

⚠ 警告

指示

■AC アダプターは家庭用交流 100V のコンセントに接続すること。
交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

禁止

■AC アダプターを分解・改造・修理しないこと。
火災・感電の原因となります。

禁止

■電源コードは
●傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと。
●引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしないこと。
●無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。

禁止

■時々 AC アダプターを抜き、刃や刃の取り付け面に、ゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること。
AC アダプターの絶縁低下によって、火災の原因となります。

安全上の注意

電波について

⚠ 警告

本製品は、5GHz 帯の電波を使用しており、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。
従って、本製品を使用する上で無線局の免許は必要ありませんが、以下のご注意をご確認ください。

■本製品は、日本国内でのみ使用できます。

■屋外で 5GHz 帯(通信チャンネル 36/40/44/48) の電波を使用することは電波法により禁じられています。

■本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

○本製品を分解、改造すること
○本製品の内部に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

■ペースメーカー等の医療機器を装着されている方は、本製品を十分に(22cm 以上)離してご使用ください。

⚠ 注意

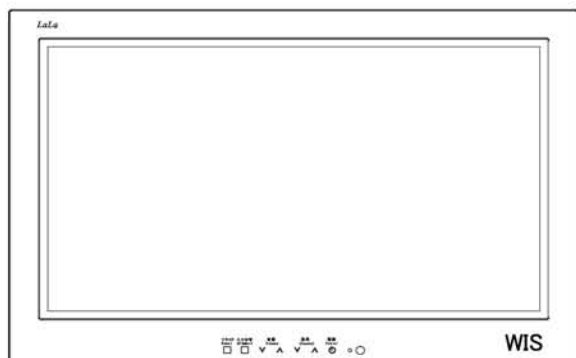
■近くで、無線 LAN(IEEE802.11a) 等の 5GHz 帯の電波を利用する機器を使用している場合、電波干渉を受けて映像や音声が途切れたり、画面にブロック状のノイズが出ます電波の干渉を受けないように、通信チャンネルの変更をしてください。

■送信機から防水モニターに届く電波には、まっすぐに届く電波の他に、建物内の様々な物によって反射されたいくつかの電波があります。この反射された電波によって、電波状態の良い場所と悪い場所ができてしまいます。そのような場合には、送信機または防水モニターを少し動かしたり、向きを変えたりすると、電波状態がよくなることがあります。

■次のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなることで、映像や音声が途切れたり、画面にブロック状のノイズが出る場合があります。

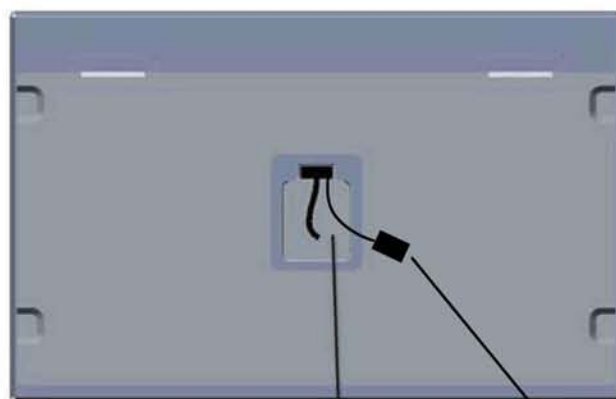
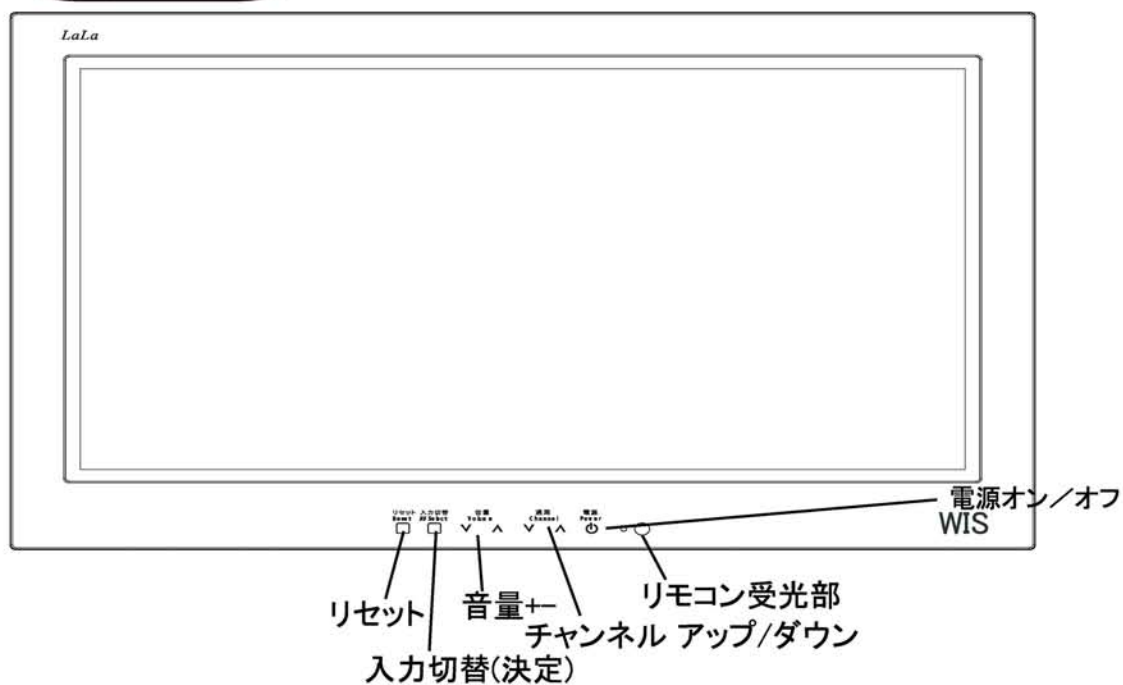
○電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波を発生する機器の近く。
○送信機と防水モニターの間または近くに金属や石や土が使われている壁、ドア、間仕切り、大型の家具や電化製品、防火ガラス等がある場合。
○送信機と防水モニターの間に人が入ったり、あいだを人が横切ったりするとき。

同梱品

お買い上げいただいたときに同梱されている商品は下記の通りです。
（不足品がないかご確認ください。）

モニターを壁取付板に付けるネジ4本

※ 同梱されるリモコン用の電池はテスト用です。早めに新品と交換してください。

各部の名称と機能

防水モニター

各部の名称と機能

送信機

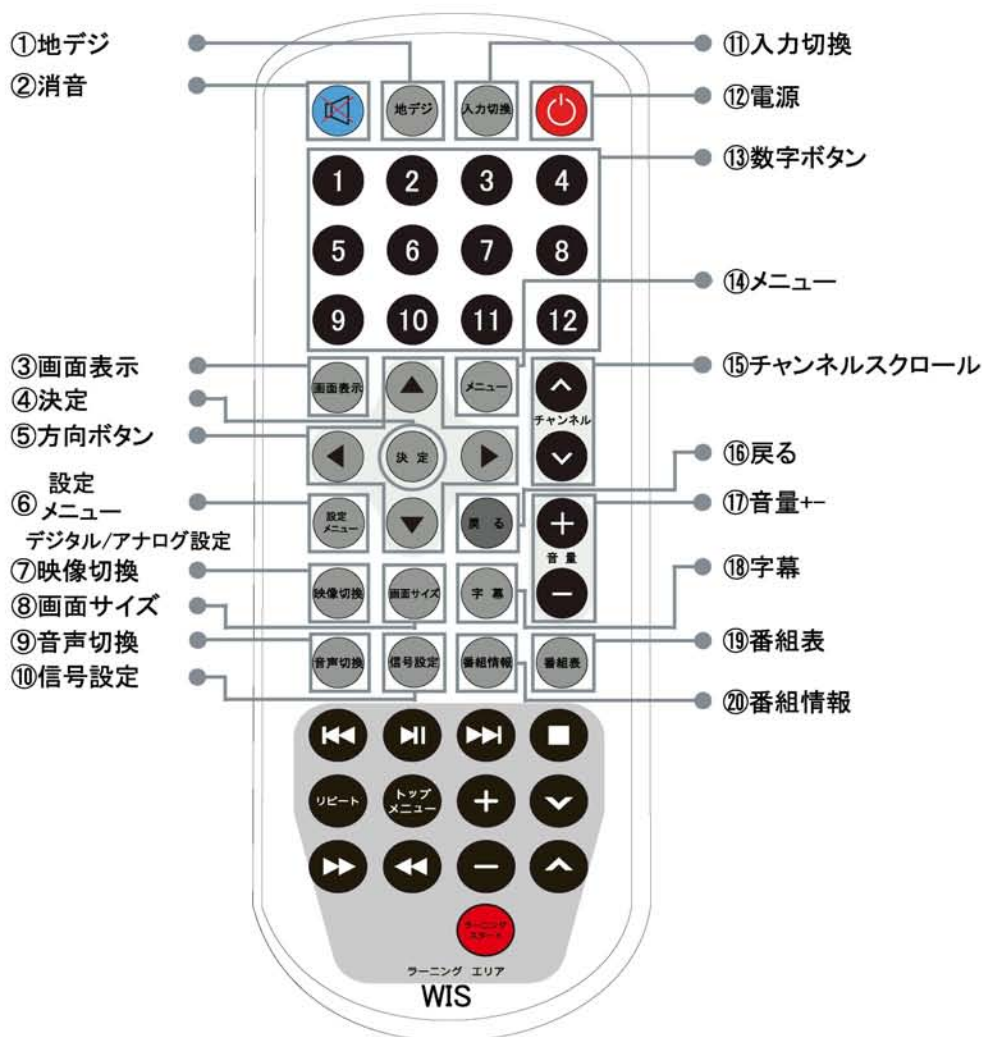
正面

背面

右側面

⚠注意

■上部に通気孔があります。風通しの悪い場所に置かないでください。内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
●じゅうたんや布団の上に置かないでください。
●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたり、上に物を置いたりしないでください。
●押入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
●壁に押し付けないでください。

各部の名称ーリモコン

①地デジ:地上デジタル放送に切換えます。
②消音:消音のオン・オフをします。
③画面表示:地上波デジタル受信中は受信中のチャンネルの情報、その他の入力の時には入力ソースの情報を表示します。
④決定:選択した項目を決定します。
⑤方向ボタン:各項目の選択をします。
⑥設定メニュー :地上波デジタル受信中にデジタルメニューの設定を行います。(P17〜P18参照)
⑦映像切換:映像モードを切換えます。
⑧画面サイズ:フル→4:3の切換をします。
⑨音声切換:地上波デジタル受信中、主音声・副音声を切り換えます。(P16参照)
⑩信号設定:干渉する電波がある場合、自動的に通信チャンネルを切換えます。

⑪入力切換:入力ソースを切換えます。
⑫電源:防水モニターの電源のオン・オフをします。
⑬数字ボタン:地上波デジタルのチャンネルの選択をします。
⑭メニュー:映像・音声などの設定を行います。

⑮チャンネルスクロール:地上波デジタルのチャンネルを順番に表示します。
⑯戻る:一つ前の画面に戻ります。
⑰音量+ −:音量の大きさを調整します。
⑱字幕:地上波デジタル受信中、字幕放送に対応した番組で字幕表示のオン・オフを行います。
⑲番組表:地上波デジタル受信中、番組表を表示します。(P15参照)
⑳番組情報:地上波デジタル受信中、番組情報を表示します。

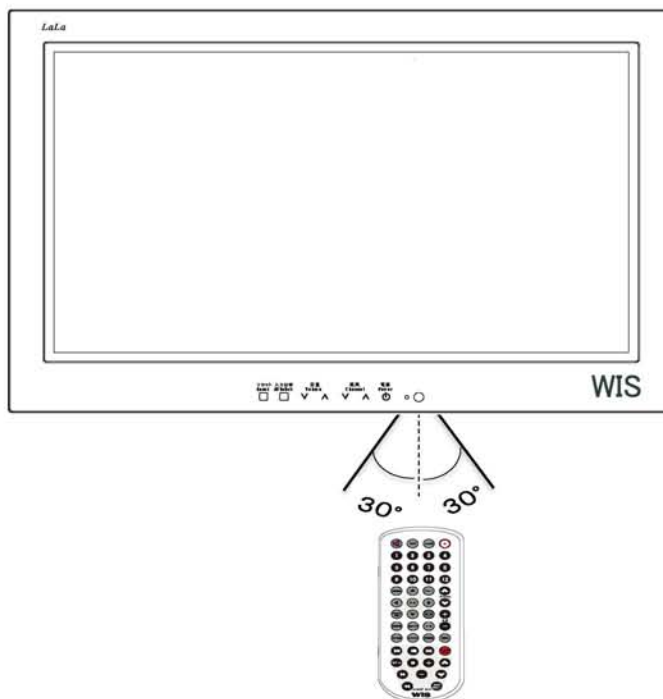
リモコンの使用方法

リモコンの取扱い方

●リモコンは防水モニター受光部に向けて操作してください。
●分解しないでください。
●リモコン送信部には衝撃を与えないでください。
●強い水流(6リットル/分を超える)や高い水圧を直接かけたり、水面に落下させたり、水中に沈めたりしないでください。
●浴室など湿度の高い場所での保管や長時間の放置はしないでください。

正しく動作させるために

次のような場合、リモコンが誤動作したり、動かない場合があります。

●本体とリモコンの間に、障害物があるとき。
●リモコン受光部に直射日光等の強い光があたったとき。
●電池容量切れ
　※乾電池電極部分と、リモコン電極端子が接触不良している場合があります。電池を入れなおしてみてください。

B-CASカードについて

■同梱のB-CAS（ビーキャス）カードは、放送の受信に必要です。
　テレビに入れたまま、ご使用ください。
■付属のB-CASカード番号登録用はがきを送り、B-CASカードの番号を登録することで、受信者登録が行われます。（登録は無料です。）
■万が一、破損、汚損があった場合や、紛失、盗難にあった場合は、下記へご連絡ください。
　㈱ビーエス　コンディショナルアクセスシステム　カスタマーセンター　TEL:0570－000－250
■折曲げたり、傷つけたり、変形させたりしないでください。
■水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。IC部には手を触れないでください。

テレビを見るまでの準備1

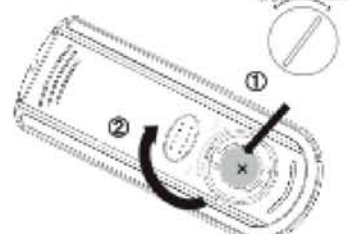
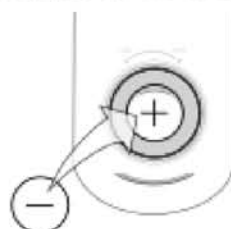
1 付属品をご確認ください。

2 リモコンにリチウムイオンボタン電池をセットします。

1.電池フタを開けます。

リモコン裏側の電池フタをコインで外します。

2.電池を入れます。

3.電池フタを閉じます。

①電池フタの ! をOPENに向けて付け、
②コインで電池フタをCLOSEまで閉めます。

リチウム電池（CR2025）を「＋」を上側にして、セットしてください。

3 送信機にB-CASカードを挿入します。"カチッ"としっかり引っかかるところまで装着します。

ミニB-CASカード脱着時の注意

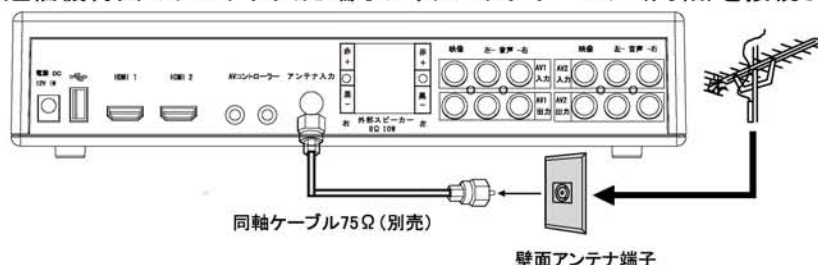
- 脱着の際は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 絵表示が見える面を上に向けて、切り込みのある方を挿入口にあわせ、ゆっくりと 差し込んでください。
- 頻繁な抜き差しはおやめください。故障の原因になります。

送信機右側面のスロットにB-CASカードを挿入します.
印刷面が上です。

テレビを見るまでの準備2

5

アンテナを接続します

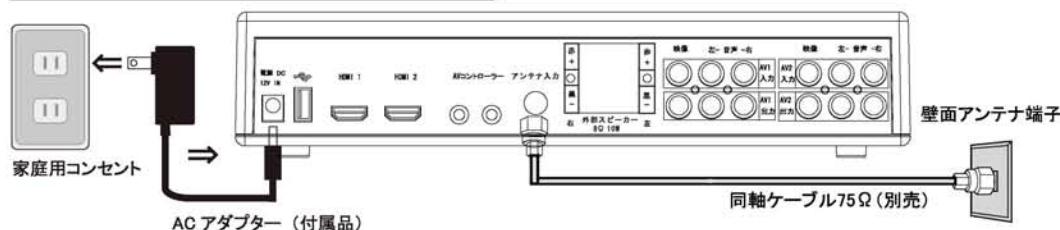
送信機背面のアンテナ入力端子に、アンテナケーブル（同軸）を接続します。

壁面アンテナ端子

※その他の機器を接続する場合はP15～P19をごらん下さい。

アンテナ接続の際の注意事項

●必ず、同軸ケーブルを使って接続してください。
●F型コネクター（ねじ式）のアンテナ線をおすすめします。本体のアンテナ端子との接触が悪いと、受信できない場合があります。
●現在お使いのUHFアンテナを使用できる場合があります。ただし、取替えや再調整が必要になることもあります。
●UHFアンテナの周りに樹木があったり、その他の障害物がある場合、受信できない場合があります。
●接続図は一般的な例です。受信の環境によっては、分配器やブースター等の機器が必要になる場合があります。

6

ACアダプターをコンセントに差し込む

⚠ 警告	付属のACアダプター以外は使用しないでください。 ACアダプターは、本機以外の製品には使用しないでください。 表示された電源電圧以外では使用しないでください。

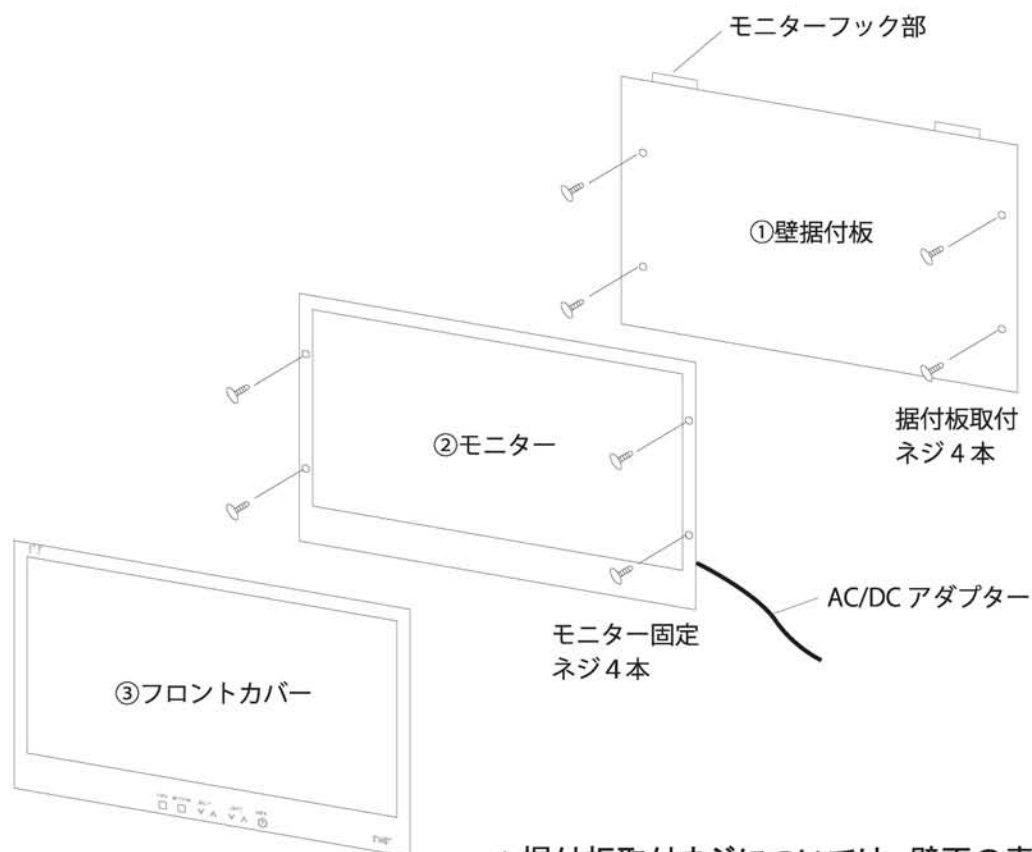
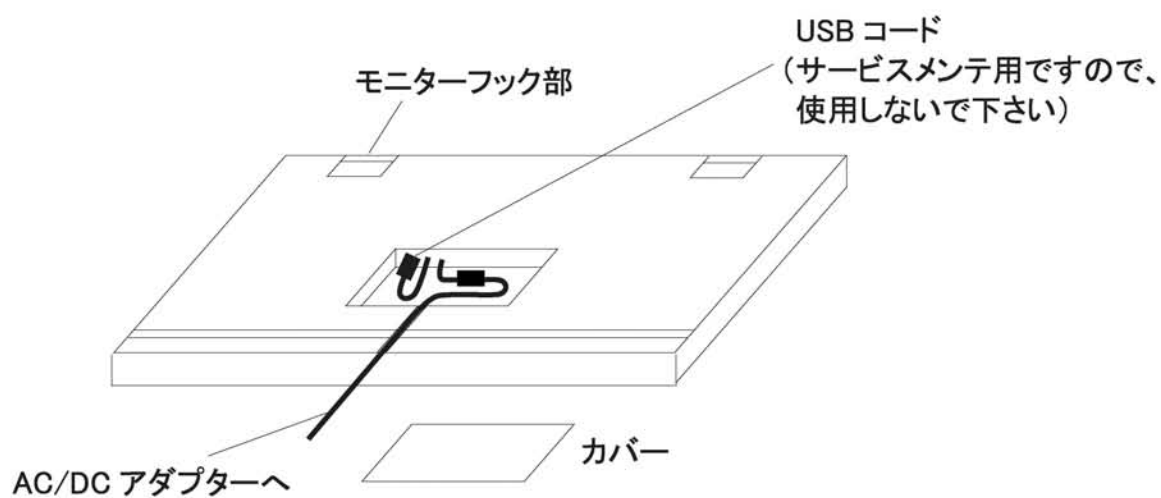
送信機前面の電源LEDランプが赤く点灯し、3秒ほどすると緑の点灯に変わります。
電源ボタンを押すと、赤の点灯に変わり、スタンバイ状態になります。

テレビを見るまでの準備3

モニター（本体機器）の取り付け

7

テレビを見るまでの準備4

8

防水モニター（本体製品）の電源を接続します。

防水モニター（本体製品）の主電源をオンにします。

防水モニター前面の電源LEDランプが緑に点灯し、3秒ほどすると赤の点灯に変わります。

9

リモコンの ⏻ を押します。

防水モニター前面の電源LEDランプが緑に点灯ます。
画面に『送信機に接続中・・・』と表示され、接続が完了すると、『接続完了』の表示に変わり、映像が映し出されます。

地上デジタルの受信設定

受信設定をする前に（準備）

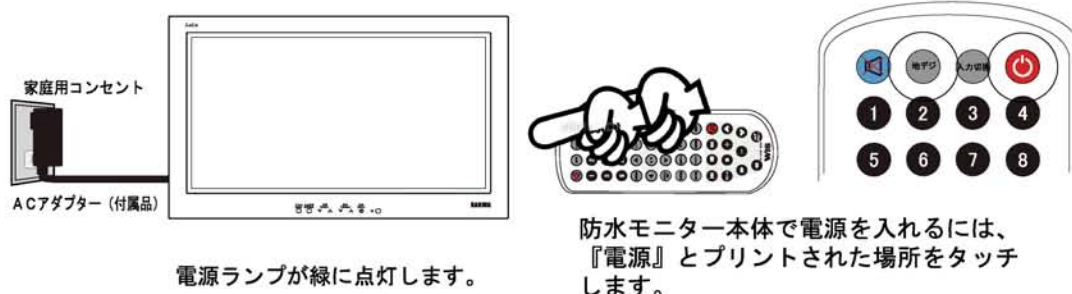
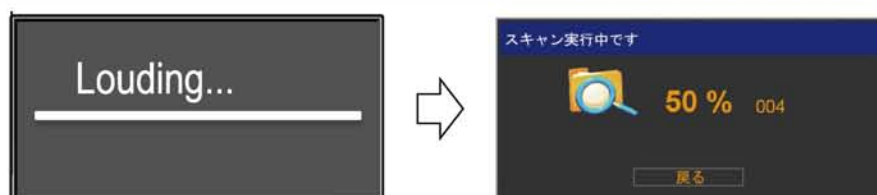
●アンテナは正しく接続されていますか？
●B-CASカードは正しくセットされていますか？

1 送信機の電源を入れます。

電源ランプが緑に点灯します。

2 リモコンの（電源ボタン）を押して、防水モニターの電源を入れ、（地デジボタン）を押します。

電源ランプが緑に点灯します。

防水モニター本体で電源を入れるには、『電源』とプリントされた場所をタッチします。

3 自動的にスキャンが実行され、受信した放送を見ることができます。

※自動的にスキャンが始まらない場合は、『オートサーチ』をご覧ください。

4 リモコンの数字ボタンか、（チャンネル ∧ ∨）を押すか、本体の ◀ チャンネル ▶ にタッチして、受信放送を選択します。

●選局に5秒ほどかかる場合があります。

注意

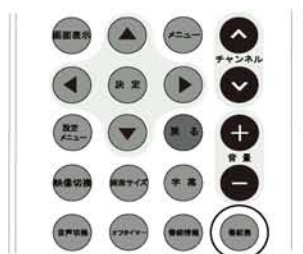
左記画面が表示され、放送が受信できない場合には・・・
●B-CASカードがしかっり入っていますか？
●地デジアンテナは接続されていますか？
●正しい地デジアンテナを使用していますか？

電子番組ガイド（EPG）

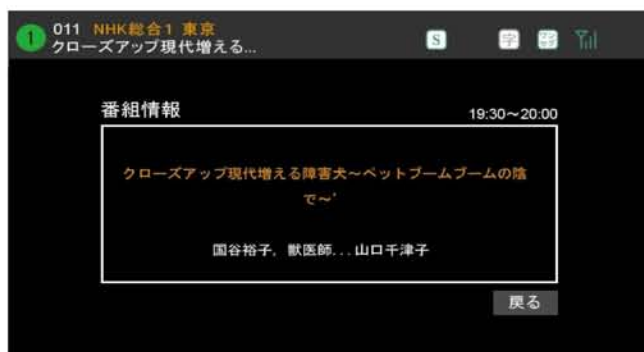
●テレビの番組表を、新聞のテレビ欄と同じような形で表示します。
●1局、最大4日分を下記のように表示します。

番組表を見る

リモコンの 番組表 を押す

番組情報取得中

◀ ▶ ボタンで、日付を変更することができます。

番組情報を見る

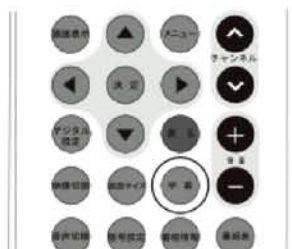
▲ ▼ ボタンで、情報を見たい番組を選択し、 決定 を押す。

※番組表を開かずに、番組表を見るには 番組情報 を押します。

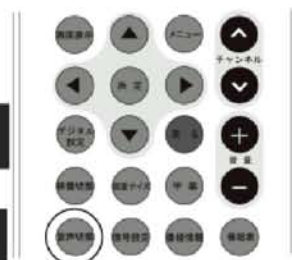
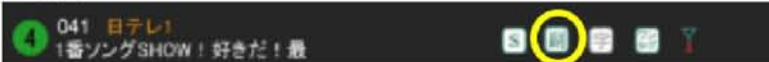
番組情報、番組表を消すには、 戻る ボタンを押します。

注意	※本機には録画機能はありません。

字幕 主音声／副音声

●字幕放送のある番組では、字幕を表示することができます。
●音声多重放送の番組では、主音声・副音声の選択ができます。

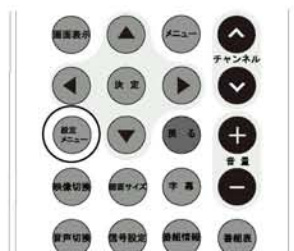
字幕設定

字幕放送の番組の視聴中に字幕押すと、画面右上に 字 のマークが緑になり字幕が表示されます。ボタンを押すたびに、字幕の表示・非表示に切り換わります。

音声切換

音声多重放送の番組の視聴中に、音声切換を押すたびに、主音声・副音声に切り換わります。画面右上の 主 副 の表示で、現在の状態が確認できます。

デジタル設定1

デジタル設定

●地上波デジタル放送の設定をします。
入力信号が『地上D』のときだけ、設定できます。

 を押すと、『デジタル設定』のメニューが表示されます。

言語

●デジタル設定メニューの表示言語を選択します。

で『言語』を選び、を押します。

※初期設定は『日本語』です。

で、『日本語』か『英語』を選び を押します。

周波数

●本機は、地上波デジタル放送にのみ対応しておりますので、設定の必要はありません。

PG設定

●本機は、地上波デジタル放送にのみ対応しておりますので、設定の必要はありません。

オートサーチ

●デジタル設定メニューのオートサーチを選択します。

で『オートサーチ』を選び、を押します。

スキャンが実行され、受信した番組を見ることができます。

注意

左記画面が表示され、放送が受信できない場合には・・・
●B-CASカードがしかっり入っていますか？
●地デジアンテナは接続されていますか？
●正しい地デジアンテナを使用していますか？

デジタル設定2

デバイス情報

●『B－CASカード情報』と『ファームウエアバージョン』を表示します。

▲▼で『デバイス情報』を選び、決定 を押します。

パスワード

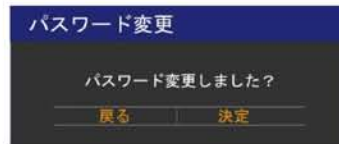
●『パスワード』を変更することができます。初期設定は『1111』です。

▲▼で『パスワード変更』を選び、決定を押します。

1. ❶～❾ で『現在のパスワード』を入力し、決定 を押します。

2. ❶～❾ で『新しいパスワード』を入力し、決定 を押します。

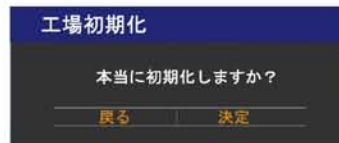
3. 確認のため『新しいパスワード』を再度入力し 決定 を押します。

4. 決定 を押します。

工場初期化

●すべての設定を工場出荷時の状態に初期化します。

▲▼で『工場初期化』を選び、決定 を押します。

1. パスワード入力画面が表示されますので、❶～❾ でパスワードを入力します。

2. 決定 を押します。

3. 設定が初期化され、新たにチャンネルのオートサーチを行います。

※設定の途中で、前の画面に戻りたいときには、戻る を押します。

システム設定1

システム設定

●システム設定ではさまざまな設定をすることが出来ます。
ただし、各設定はディスク情報が優先されます。
●一度設定すると、設定を変えるまで保存されます。

（メニュー）を押すと、『システム設定』のメニューが表示されます。

映像設定

▲▼で、『映像モード』がオレンジに表示されたら◀▶で『ユーザー』を選択します。

▲▼で『コントラスト』～『ノイズリダクション』を選び◀▶で調整します。

映像調整の内容

調整項目	内容	◀	▶
映像モード	モードの切換	標準⇒映画⇒鮮明⇒ユーザー	
コントラスト	階調を調整	浅くなる	深くなる
明るさ	明るさを調整	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	色の濃さを調整	薄くなる	濃くなる
シャープネス	輪郭を調整	ソフトになる	シャープになる
色温度	肌色を調整	ノーマル⇒ワーム⇒クール	
ノイズリダクション	ノイズの軽減	低⇒中⇒高⇒オフ	

●映像調整をする場合 『ユーザー』以外では変更できません

システム設定2

（メニュー）を押し、『システム設定』のメニューが表示されたら◀▶で『音声』『設定』『その他の設定』の画面にします。

音声設定

▲▼で、『音声モード』がオレンジに表示されたら◀▶で『ユーザー』を選択します。

▲▼で『低音』～『自動調整』を選び◀▶で調整します。

音声調整の内容

調整項目	内容	◀	▶
音声モード	モードの切換	標準⇒映画⇒音楽⇒ユーザー	
低音	低音を調整	軽減される	強調される
高温	高音を調整	軽減される	強調される
バランス	左右の音量を調整	左の音が強調	右の音が強調
自動調整	最適な状態に設定される		

●音声調整をする場合　『ユーザー』以外では変更できません

システム設定3

設定

各項目の内容

調整項目	内容	◀	▶
言語	OSD言語の設定	日本語⇒ENGLISH	
OSDタイマー	OSD表示時間の設定	5秒⇒10秒⇒15秒⇒20秒⇒25秒⇒30秒	
透過性	OSD画面の透過性	透明になる	不透明になる
リセット	工場初期化	▶ を押す	

その他の設定

各項目の内容

調整項目	内容	◀	▶
スリープタイマー	タイマーの設定	オフ⇒15分ごとに120分まで	
アスペクト	画面サイズの設定	フル⇒4:3	

地上アナログの受信設定

 を押し、入力切換メニューを表示します。

 で『ATV』を選択し、 決定 を押します。

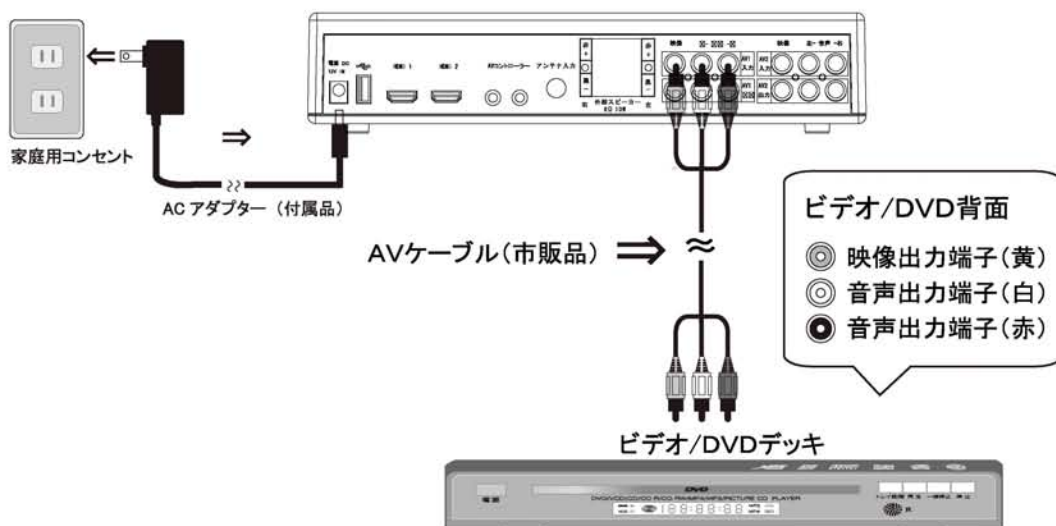
● 地上アナログについては、顧客側での使用方法を掲載。

DVD／ブルーレイ等の接続1

接続の仕方

AVケーブルで接続する場合

1. 送信機背面の『AV1入力』または『AV2入力』と、ビデオやDVDプレーヤーの『映像/音声出力端子』を市販のAVケーブルで、接続します。
2. 送信機とビデオやDVDプレーヤーの電源を入れます。
3. (入力切換) を押し、入力切換メニューを表示します。
4. (▲)(▼) で、『AV1』または『AV2』を選択し、(決定) を押します。
5. ビデオやDVDプレーヤーで操作を開始します。

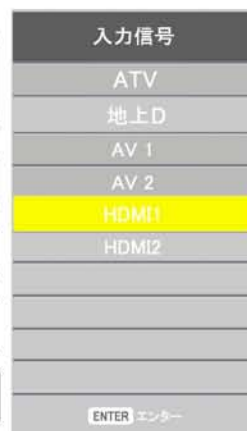
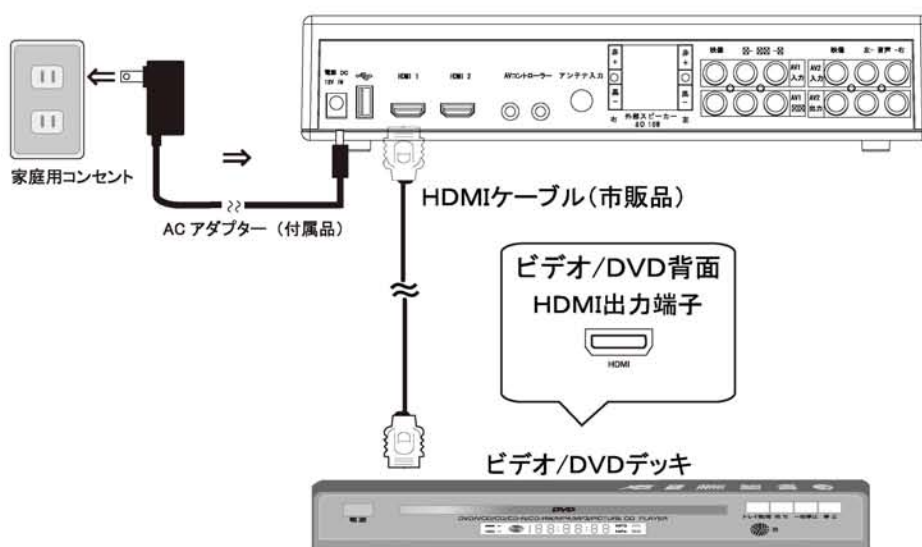
※ラーニングリモコンの機能を利用すると、本機のリモコンで、ビデオやＤＶＤプレーヤーを操作する設定をすることができます。（Ｐ 26 ～Ｐ 27 参照）

DVD／ブルーレイ等の接続2

接続の仕方

HDMIケーブルで接続する場合

1. 送信機背面の『HDMI1』または『HDMI2』と、ビデオやDVDプレーヤーの『HDMI出力端子』を市販のHDMIケーブルで、接続します。
2. 送信機とビデオやDVDプレーヤーの電源を入れます。
3. （入力切換）を押し、入力切換メニューを表示します。
4. （▲）（▼）で、『HDMI1』または『HDMI2』を選択し、（決定）を押します。
5. ビデオやDVDプレーヤーで操作を開始します。

入力信号
ATV
地上D
AV 1
AV 2
HDMI1
HDMI2

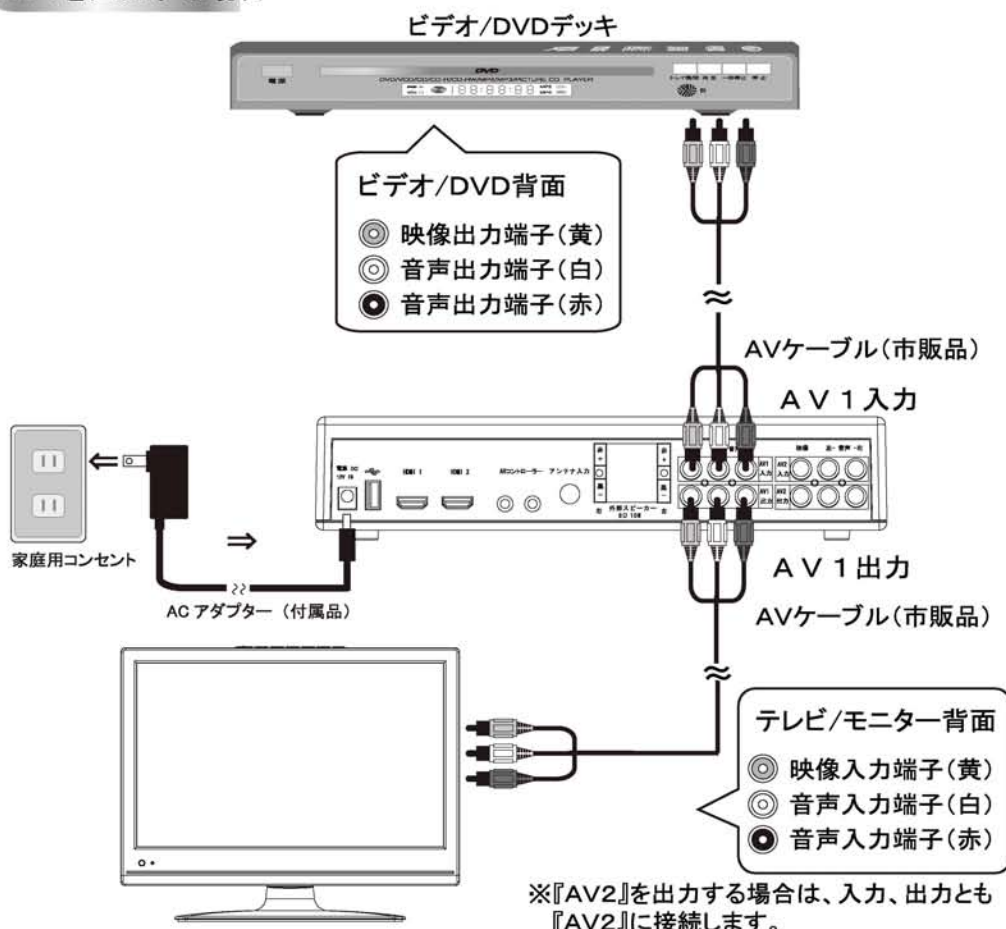
ENTER エンター

※ラーニングリモコンの機能を利用すると、本機のリモコンで、ビデオやＤＶＤプレーヤーを操作する設定をすることができます。

DVD／ブルーレイ等の接続3

他のテレビやモニターに出力する。

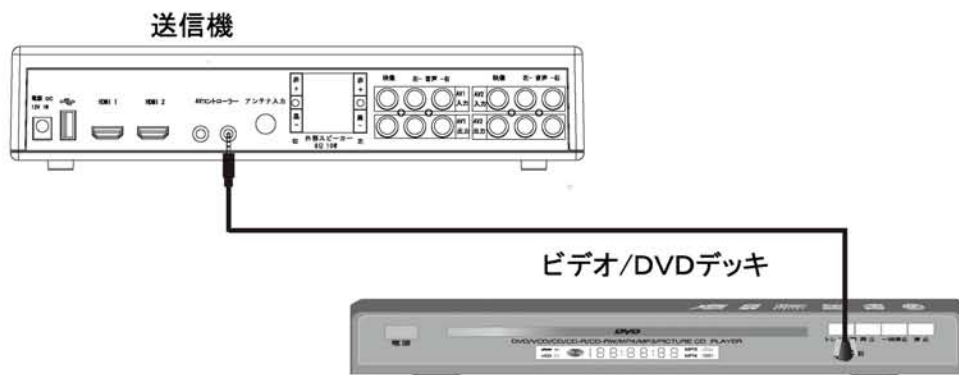
『AV1』『AV2』にビデオやDVDプレーヤーを接続しているとき、その映像を他のテレビやモニターに出力することができます。

1	送信機背面の『AV1入力』『AV2入力』に、ビデオやDVDプレーヤーを接続した状態で、『AV1出力』『AV2出力』に他のテレビやモニターを接続します。
2	送信機とビデオやDVDプレーヤー、他のテレビやモニターの電源を入れます。
3	[入力切換] を押し、入力切換メニューを表示します。
4	[▲][▼] で、『AV1』『AV2』のいずれかを選択し、[決定] を押します。
5	ビデオやDVDプレーヤーで操作を開始します。

AV1を出力する場合

※『AV2』を出力する場合は、入力、出力とも『AV2』に接続します。

ラーニングリモコンの設定1

1 付属のオシレーターを送信機背面の『AVコントローラー』に接続し、ビデオやDVDプレーヤーのリモコン受光部に、付属の両面テープで貼り付けます。

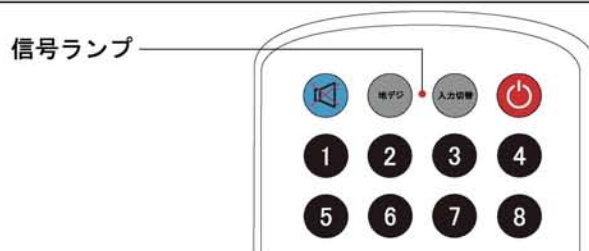
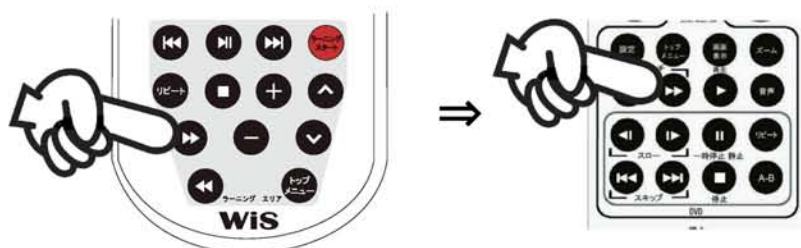
送信機

2 本機のリモコンと学習させたいお使いの機器のリモコンを向かい合わせにします。

学習させたいリモコン

2～5㎝

本機のリモコン

●机など、平らなところに置いてください。
●学習させるリモコンの送信部と、本機のリモコンの受光部の高さが違う場合には、本などを用いて、高さをあわせてください。

3 リモコンの ラーニングスタート を、3秒ほど長押しすると、信号ランプの点灯が明るくなります。

4 本機のリモコンの機能を設定したいボタンを押すと、信号ランプが点滅します。続けて、学習させたいリモコンのボタンを押すと点滅が早くなり、点灯に変わります。

ラーニングリモコンの設定2

5 続けて他のボタンの設定をするには、4を繰り返します。

6 リモコンの ラーニングスタート を、再度押すと、設定が保存されラーニングを終了します。

注意！

●ラーニングを行うときは、両方のリモコンに新しい電池をご使用ください。電池が消耗していると、ラーニングできなかったり、誤作動を起こす可能性があります。
● ラーニングスタート を押してから、15秒以上操作しない(ボタンを押さない)と、ランプが消え、操作は続行できなく
なります。
●直射日光のあたる場所や、照明器具の直下などでラーニング操作しないでください。ノイズが入り誤作動の原因になります。
●お使いのリモコンの機種によっては、発光部の位置がずれている場合があります。設定がうまくいかないときには、リモコンの位置を変えてみてください。
●お使いの機種によっては、正しく学習できないことがあります。

製品仕様（防水モニター）

機　　能	項　　目	
防水モニター（本体製品）		
防水仕様	等級	JIS IPX6
液晶パネル	パネルサイズ	21．5インチ
	アスペクト比	16　：　9
	画素数	1920（H）　×　1080（V）
	輝度（cd/㎡）	250
	コントラスト比	1000　：　1
	視野角	170°　×　160°
音声	高音質	ダウンドームサウンドシステム
	音声出力	6W（3W＋　3W）
	スピーカー	4Ω　3Wタイプ　2個
無線方式・規格	準拠規格	50HZ帯　データ通信システム
	変調方式	WHDI方式
	周波数範囲	（中心周波数）5．15GHz〜5．25GHz
電源	使用電源	入力:AC100V　50／60Hz　出力:DC12V
	消費電力	25W
	年間消費電力	43KWh
	（新）2013　エコ基準	★★★★★
推奨動作温度	0°〜　50°	＊絶対的な動作／保存温度を示すものではありません。
推奨保存温度	0°〜　50°	＊絶対的な動作／保存温度を示すものではありません。
製品重量	本体	5.3kg
外形寸法	本体	549mm(幅)*359mm(高さ)*38mm(奥行き)

製品改善のために、予告なく変更することをご了承お願いいたします。

製品仕様（送信機）

機　　能	項　　目	
送信機		
受信チャンネル	地上デジタル	UHF［13〜62ch］/CATV（UHF同一周波数パススルー対応）
	地上アナログ	VHF[1〜12ch]/UHF［13〜62ch]
入力端子	USB	ソフトウェア　アップグレード用
	アンテナ入力	2系統（地上デジタル・地上アナログ）
	HDMI1／HDMI2	2系統（480i 480P 576i 576P 720P 1080i 1080P)
	AV1/AV2	2系統　RCA(赤白黄)
出力端子	AV1/AV2	2系統　RCA(赤白黄)
	外部スピーカー	8Ω　10Wタイプ　2個
無線方式・規格	準拠規格	5OHZ帯　データ通信システム
	変調方式	WHDI方式
	周波数範囲	（中心周波数）5．15GHz〜5．25GHz
付加機能	電子番組ガイド	1局、最大4日分表示／番組内容（詳細）機能付き
	ホテルソフトモード	ホテル専用ソフトウェア
電源	使用電源	入力:AC100V　50／60Hz　出力:DC12V
	消費電力	15W
	年間消費電力	23KWh
推奨動作温度	0°　〜　50°	＊絶対的な動作／保存温度を示すものではありません。
推奨保存温度	0°　〜　50°	＊絶対的な動作／保存温度を示すものではありません。
製品重量	本体	510g
外形寸法	本体	291mm(幅)*21.5mm(高さ)*132mm(奥行き)

製品改善のために、予告なく変更することをご了承お願いいたします。

お客様サービスセンターのご案内

**「＊商品の修理、取扱い方及び商品購入、販売については、
株式会社WISサービスセンターへお問い合わせ下さい」**

株式会社 ＷＩＳサービスセンター

〒 607-8481　京都市山科区北花山中道町109-9

ナビダイヤル

0570-039-539

受付時間　平日午前１０時～午後５時
土日祝祭日および弊社指定休業日を除く

＊商品の修理、取扱い方については、サービスセンターへ
＊商品購入、販売先、問い合わせは **株式会社WISサービスセンター へ**